

2006年4月

エンゼル110番開設30周年！【森永乳業 育児ニュース】
エンゼル110番レポート第48号発行
「子育てママの携帯電話活用法」

情報サイトを活用し、意見交換や情報収集のツールとしても活用される携帯電話

森永乳業は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル110番レポート」(※1)を発行しております。この「エンゼル110番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル110番」(※2)への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

第48回のテーマは『子育てママの携帯電話活用方法』です。エンゼル110番にお電話をいただいた母親100名を対象に子育てママならではの携帯電話の活用方法をたずねました。

■—100人のママに聞きました—『子育てママの携帯電話活用方法』

05年3月に実施した『妻の実家、夫の実家、どう付き合っていますか』では「両親に携帯電話のメールで毎日子どもの写真を送っている」といった意見が多く聞かれました。今回の調査では育児情報サイトの利用や、ママ友達との意見・情報交換、さらには子どもをあやすおもちゃ代わりに携帯電話を活用しているなどの意見が寄せられました。

アンケート結果の詳細は、別添「エンゼル110番レポート」Vol.48にまとめています。

【主なアンケート結果】

- ①子育て中のママのうち、98%が携帯電話を所有。メール機能の活用は98%で、ほとんどの人が使用していた。
- ②メール機能の使用頻度はおよそ9割のママが「ほぼ毎日」と回答。ママ友達との情報交換や夫とのコミュニケーションなどのツールとして活用されている。
- ③パソコンより手軽に情報サイトを閲覧できるため、携帯電話から育児情報サイトにアクセスしたり、メール機能を活用してママ友達とのコミュニケーションを図るなど、子育てに追われる忙しいママの姿を反映した意見が寄せられた。
- ④子どものお気に入りの着メロを聞かせるなど、おもちゃ代わりに活用されている。

※育児情報サイト「森永はぐくみチャンネル」展開中！

森永乳業では、妊娠中のプレママ・パパ、育児中のママ・パパを応援する携帯サイト「森永はぐくみチャンネル」を展開しています。【妊娠中】ではおなかの赤ちゃんの様子をお知らせする「赤ちゃんダイアリー」や、栄養バランスのよい、おいしいレシピを紹介する「プレママの栄養☆レシピ」などを、【育児中】では毎月お子さまの成長の様子をお知らせする「お誕生にち号」、育児に役立つ情報や月齢別の離乳食レシピを紹介する「お役立ち版」、商品モニターの募集やお出かけ情報をご紹介する「エンタメ版」(7カ月～1歳6カ月のみ配信)など、充実した情報をお届けしているサービスです。

※ 1、エンゼル110番レポートのバックナンバー

第1号 (93/4月) 『離乳食』	第26号 (99/12月) 『子育てが楽しいと感じる時』
第2号 (93/7月) 『初めての泊まりがけ旅行』	第27号 (2000/3月) 『離乳食は得意ですか』
第3号 (93/10月) 『胎教』	第28号 (00/6月) 『子育て仲間はどこで見つめましたか?』
第4号 (94/1月) 『お年玉』	第29号 (00/9月) 『子連れで海外旅行に行きましたか?』
第5号 (94/5月) 『夫の育児参加と妻の満足度』	開設25周年記念冊子 (00/10月)
第6号 (94/8月) 『妊娠中の食事について』	『医療関係者向アドバイスブック』
第7号 (94/11月) 『育児雑誌を読みますか』	第30号 (00/12月) 『私たちのミレニウム・ベビー』
第8号 (95/2月) 『早期教育は必要ですか』	第31号 (01/3月) 『ママたちのIT革命』
第9号 (95/5月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』	第32号 (01/6月) 『子どもが生まれて
第10号 (95/8月) 『どんな出産をしましたか』	夫婦関係が変わりましたか?』
開設20周年記念冊子 (96/10月)	第33号 (01/9月) 『妊娠してからの食生活の変化』
『60万件の電話相談から』	第34号 (01/12月) 『絵本の読み聞かせをしていますか』
第11号 (95/11月) 『子育て費用をどう考えますか』	第35号 (02/3月) 『育児日記をつけてますか』
第12号 (96/2月) 『子どものこと夫婦で話していますか』	第36号 (02/6月) 『ママたちの再就職事情』
第13号 (96/10月) 『赤ちゃんをだっこした	第37号 (02/9月) 『テレビやビデオをどのように
経験ありましたか』	見せていますか』
第14号 (96/12月) 『理想の父親像と母親像』	第38号 (03/1月) 『夫の育児参加と妻の満足度 (その2)』
第15号 (97/4月) 『子育て中のお母さんの自由時間』	第39号 (03/4月) 『子育てにインターネットを
第16号 (97/6月) 『子どもを預けたことはありますか』	活用していますか?』
第17号 (97/9月) 『子育て中のストレス解消法』	第40号 (03/7月) 『子育てコストとママの生活満足度』
第18号 (97/12月) 『かかりつけのお医者選び』	第41号 (03/12月) 『ママたちの育児スタート
第19号 (98/4月) 『“格好いいお母さん” が当たり前?』	—産後に望む支援サービス—』
第20号 (98/6月) 『35歳からの子育て』	第42号 (04/4月) 『子育てママの喫煙・禁煙』
第21号 (98/9月) 『これからはママもパソコン使います』	第43号 (04/9月) 『信頼できる育児の情報源と
第22号 (98/12月) 『35歳からの子育て パートII』	ママたちの満足度』
第23号 (99/3月) 『実家とどうつきあっていますか』	第44号 (04/11月) 『ママたちの産院選びと立会い出産の実態』
第24号 (99/6月) 『子どものアレルギーについて』	第45号 (05/3月) 『妻の実家・夫の実家、
第25号 (99/9月) 『子ども連れのお母さんが見た街作り』	どう付き合っていますか?』
	第46号 (05/7月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』
	第47号 (05/11月) 『赤ちゃんをだっこした経験、
	ありましたか?』

※2・エンゼル110番

「子育て奮闘中のお母さんたちのために何かお役に立てることは…」と考え、当社提供により1975年5月に開設した育児相談窓口です。06年5月に開設から30周年を迎えます。

妊娠中から6歳までの子どもを持つ母親を対象に、無料で電話相談による育児相談を行っています。カウンセラーは、母親がかかえている悩みや問題を聞き、ひとりひとりが自分なりに問題を解決できるようにサポートすることを心がけています。

○相談時間 10時～14時 (月～土曜、祝休日は除く)

○電話番号 【東京】03-3405-0110 【大阪】06-6365-0110

○ホームページ <http://www.dsn.co.jp/personal/angel110/>

I 今回のテーマ

子育てママの携帯電話活用法

——100人のママに聞きました——

今や日本国民の4人に3人が契約するまでに普及した携帯電話(2005年12月現在。PHSを含む/社)電気通信事業者協会調べ)。機能の多様化に伴って、通話だけでなく、メールや情報収集、ゲーム、子どもの安全管理などさまざまな用途に使用され、世代を問わず生活の必需品となりつつあります。

では、子育て中のママたちは、携帯電話をどのように利用しているのでしょうか。エンゼル110番レポート vol.45「妻の実家、夫の実家、どうつきあっていますか」(2005年3月)では、「遠くに住んでいる両親に、携帯電話のメールで毎日子どもの写真を送っている」といった声は何件か寄せられました。

そこで、エンゼル110番では、ママたち100名にアンケート調査を行ない、子育て中のママたちならではの携帯電話の活用法を探りました。

98%のママが「携帯電話を持っている」

まず、「携帯電話(PHSを含む)を持っているかどうか」をたずねたところ、100人中98人が「持っている」と答えました(図1)。

携帯電話を持っていない人は、その理由を「お金がかかるし、今のところは持つ必要性を感じない」「どこにいても電話がつながるので、追いかけるようでイヤ」としています。また、携帯電話を持っている人が、もっともよく使う機能は「メール」で、98.0%と、ほとんどの人が利用していることがわかりました(図2)。次いで、「写真を撮る」76.5%、「電話」67.3%、「携帯サイトを見る」40.8%となっています。

図1 携帯電話を持っていますか？
(N=100)

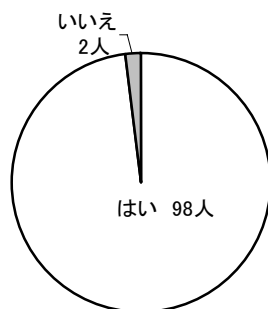
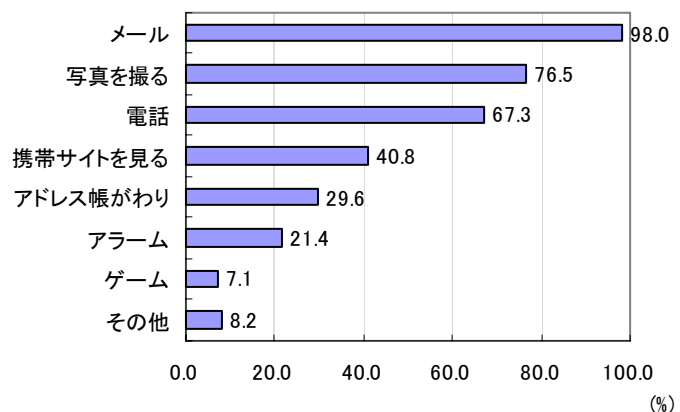


図2 どんな機能を使っていますか？
(N=98、複数回答)



ママ友達との情報交換はメールで

もっとも利用の多いメールについて、その利用頻度をたずねたところ、96人中87人、およそ9割の人が「毎日使っている」と答えました。メール件数では、1日当たり5件以下の人が半数をしめますが、6件以上の人も3割以上いました（図3）。

メールをやり取りする相手は、「ママ友だち」をあげた人がもっとも多く、63.5%。次いで「夫」58.3%、「友人」57.3%となっています（図4）。

ママ友だちとは「メールで子育てグッズの写真を撮って情報交換をしている」「発育や離乳食の進み具合を確かめ合う」など、子育て情報を交換する上で、メールは欠かせないものとなっているようです。

また、夫とは「里帰り中なので、離れているパパに赤ちゃんの写真を毎日送る」「帰りの時間をメールで知らせてもらう」「買い忘れた物をメールで頼む」など、夫婦のコミュニケーションにもメールが頻繁に使われていることがわかります。

図3 メールはどれくらい利用しますか？
(N=96)

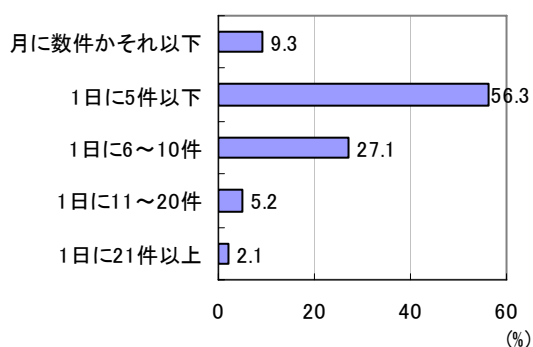
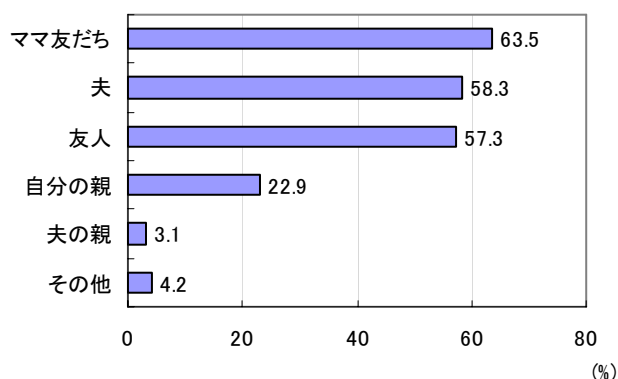


図4 メールは主に誰とやりとりしますか？
(N=96、複数回答)



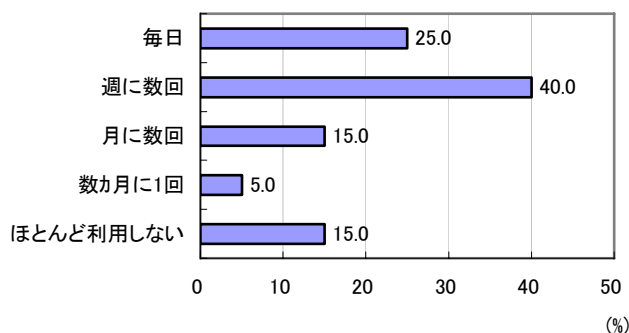
サイトの利用は週に数回

次に、携帯サイトを利用していると答えた40人に、その利用頻度をたずねました。「毎日利用する」と答えた人は25%で、もっとも多かったのは「週に数回」の40%でした（図5）。

また、どんなサイトを見ているかをたずねると、着メロのダウンロード、天気予報・ニュース、交通機関の乗り継ぎ確認などのほか、育児情報サイトや、ママ同士の意見交換の場が設けられたサイトなどをあげる人も少なくありませんでした。

携帯電話からサイトにアクセスすると通信料がかかるため、「サイトを見るときはパソコンを使う」という声も何件かありましたが、忙しいママたちにとって、手軽に閲覧できる携帯サイトは情報収集の便利な機能として広がっているようです。

図5 携帯サイトの使用頻度は？
(N=40)

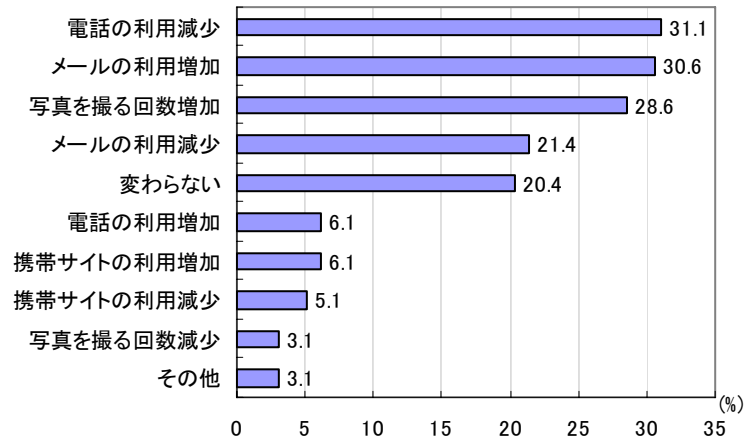


出産後は電話が減ってメールが増加

出産前と出産後で、携帯電話の利用方法が変わったかどうかについてもたずねてみました。

約3割の人が「電話の回数が減った」と答え、同じく約3割の人が「メールの回数が増えた」「写真を撮る回数が増えた」と答えています。「ゆっくりと電話で話す気持ちのゆとりがない」「メールなら相手が忙しいかどうか気にする必要がないので、電話よりも抵抗がない」「メールも電話も減った。そんな時間があったら休みたい」といった声からは、24時間待ったなしの子育てに追われる忙しいママたちの姿が垣間見えます。

図6 出産前と後では携帯電話の利用法が変わりましたか？(N=98、複数回答)



着メロで子どもがご機嫌に

最後に、子育て中のママならではの携帯電話の活用法をたずねてみました。

「赤ちゃんの写真を撮って、親や友人に送る」「写真を撮り、それをアルバム代わりにしている」という声が多くありました。また、「子どもが泣いたとき、着メロを聞かせると機嫌がよくなる」「オムツ替えのとき、着信音を鳴らして持たせておくと、しばらくはおとなしくしてくれる」など、子どもをあやすオモチャ代わりに、携帯電話を利用しているという声が多く寄せられました。

また、「かかりつけの小児科の携帯サイトで予約を入れたり、待ち時間を確認する」という人もいました。

さらに、「機能そのものというより、気軽にメールでコミュニケーションがとれるため、ストレス解消に役立つ」という声もあり、子育て中のママならではの活用法がいろいろ見られました。

同時に、「自治体などから、育児関連のお知らせをメールで配信してもらえると助かる」といったサービスを求める声もあり、ママたちの携帯電話への期待度は、非常に高いといえそうです。

[HOT VOICE]

ママたちのケータイ活用法あれこれ

■ ケータイは子どものオモチャ？

- ・子どもの機嫌が悪いときは、音を鳴らしたり動画を見せたりするとピタリと泣きやみます。
(28歳、1歳5ヵ月)
- ・子どもの好きな曲をダウンロードしておいて、買い物中に子どもが騒いだときに聞かせています。
(27歳、2ヵ月)

■ 情報収集にケータイは便利

- ・どこへ出かけるにも、まずは携帯で情報を調べます。携帯だと履歴が残るので、メモ代わりにもなって便利です。
(31歳、1ヵ月)
- ・忙しくてテレビを見る時間もないので、天気予報は携帯サイトで毎日、何回か確認しています。洗濯をするのにも公園通いにも、天気予報は必要なのです。
(26歳、10ヵ月)

■ ケータイで荷物を減らす

- ・子どもがいると荷物が増えるので、電卓やアドレス帳がわりにもなる携帯はとっても便利。いずれおサイフケータイも使いたいです！
(28歳、2ヵ月)

■ メールでストレス解消

- ・友人と「子どもが寝ない」とか「パパへの不満」とかをメールで報告しあってストレスを解消しています。
(37歳、2歳2ヵ月)
- ・うちの子は、抱っこしていないと寝てくれません。抱っこしたままでもできるメールで気分転換している毎日です。
(27歳、7ヵ月)

調査の概要

- 対象 : 「エンゼル110番」に電話をかけてきた子育て中の母親100人
- 調査方法 : 電話による聞き取り調査
- 調査期間 : 平成17年12月15日～平成18年2月3日
- 対象者の属性 : 「母親の年齢」 20代…45人、30代…54人、40代…1人、
「子どもの年齢」 6ヵ月未満…40人、1歳未満…37人、1～2歳代…22人
3歳以上…1人
「子どもの性別」 男の子…48人、女の子…52人
「居住地」 首都圏…66人、首都圏以外…33人、不明…1人

Ⅱ. 最近の電話相談から

入園前のトイレトレーニング

保育園や幼稚園への入園が間近になり、親も子も何となく落ち着かない日々を過ごす時期ですね。だんだんと暖かくなっていくこともあって、トイレトレーニングの相談が目立ち始めます。特にこの時期は、入園を直前に控え、焦ってイライラしたり、叱ってしまったり、子どもの成長をゆっくり待つことが難しい親の思いがうかがえます。

Q1：4月から保育園に入園が決まったので、トイレトレーニングを始めました。他の子と比べて何ごとともゆっくりで、チョコチョコおしっこをします。時間をみながらトイレやオマルに誘っても知らん顔でいっこうに進みません。どうしたらおしっこのタイミングを覚えてくれるようになるのでしょうか？

(2歳1ヵ月)

A：トイレトレーニングの開始の目安は2歳前後といわれていますが、排泄の発達には個人差が大きく、年齢だけを目安にして進めようとするとう無理が多いようです。トイレトレーニングを始める前に、お子さんの様子をチェックしてみましょう。

1. おしっこの間隔が2時間位あいている
2. トイレに行くことに興味がある。
3. 座ったり、歩いたりが自由にできる。
4. おしっこが出そうな仕草をする。
5. ママやパパのマネができる。
6. 「はい」と「いいえ」の意思表示ができる。

もしも、現在当てはまる項目が少ないようでしたら、保育園に入園してから保育士と相談しながらすすめても遅くはないでしょう。

Q2：今年3年保育で幼稚園へ入園しますが、まだおしっこがトイレでうまくできません。入園までには何とかしたいと、かなり前から頑張っていたのですが、トイレに行くタイミングがずれたりして、2回に1回は失敗します。このごろはトイレに誘うと大泣きして抵抗します。「叱ってはいけない」とわかっているのですが、つい、叱ってしまうことがあります。入園までにトイレでおしっこができるようにするにはどうしたら良いのでしょうか？

(3歳4ヵ月)

A：2回に1回失敗するという事は、2回に1回はできているということです。特に入園前後は子どもも緊張していますから、失敗する事が多いと思いますが、焦って叱ったりしないで、まずはできたことをほめて自信を持たせてあげましょう。幼稚園でも失敗する子どもは、少なくないと思います。入園したら、担任の先生に今の様子を話して、トイレへの誘いなどフォローをお願いしてみましょう。他の子どもがトイレに行くのを見ると、案外すんなりで行けることも多いようです。トイレに行くことをイヤがるようなら、家ではしばらくの間オマルを使ってみるのも良いでしょう。

Ⅲ エンゼル 110 番利用件数（平成 17 年 7 月～12 月）

1975 年の開設以来、約 79 万件のお電話をいただきました

●月齢別利用件数（利用対象者は、妊娠中から 6 歳の幼児をもつ親）

	妊娠中	0 カ月	1 カ月	2 カ月	3 カ月	4 カ月	5 カ月	6 カ月	7 カ月
件数	314	718	638	496	445	300	291	310	245
(%)	(4.9%)	(10.9%)	(9.7%)	(7.5%)	(6.9%)	(4.6%)	(4.4%)	(4.7%)	(3.7%)
累計	54,816	71,754	83,435	64,775	54,601	46,088	48,244	41,799	30,187
(%)	(7.0%)	(9.1%)	(10.6%)	(8.2%)	(6.9%)	(5.9%)	(6.1%)	(5.3%)	(3.8%)
	8 カ月	9 カ月	10 カ月	11 カ月	1 歳代	2 歳代	3 歳以上	不明	合計
件数	350	388	245	167	711	310	533	112	6,573
(%)	(5.3%)	(5.9%)	(3.7%)	(2.5%)	(10.8%)	(4.7%)	(8.1%)	(1.7%)	(100.0%)
累計	25,624	25,552	20,148	17,575	92,760	45,405	62,551	2,047	787,361
(%)	(3.3%)	(3.2%)	(2.6%)	(2.2%)	(11.8%)	(5.8%)	(7.9%)	(0.3%)	(100.0%)

※累計：1975 年 5 月の開設以来の総件数

●相談内容別件数

	食事	身体	予防	発達	情緒	躰・教育	生活	妊娠	親	その他
件数	5,982	2,454	156	514	814	419	723	487	634	28
(%)	(49.0%)	(20.1%)	(1.3%)	(4.2%)	(6.7%)	(3.4%)	(5.9%)	(4.0%)	(5.2%)	(0.2%)
										合計
										12,211
										(100.0%)

※相談内容は、1 回の利用について複数にわたることが多いため、利用件数と一致しない